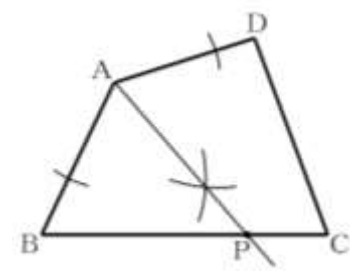


数学 採点のポイント

(6 一次・分割前期)

問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
<p>① 〔問 9〕 配点 6 点</p>		<p>○∠BADの二等分線を引いている。 ○∠BADの二等分線と辺BCとの交点Pが正確に示されている。</p>
<p>② 〔問 2〕 配点 7 点</p>	<p>四角形AGHCは、上底がax cm、下底が$(ax + a)$ cm、高さがb cmの台形だから、 四角形AGHCの面積は、 $\{ax + (ax + a)\} \times b \times \frac{1}{2}$ $= \frac{1}{2} ab(2x + 1) \quad \dots\dots\dots (1)$ 四角形ABJKは、上底がbx cm、下底が$(bx + b)$ cm、高さがa cmの台形だから、 四角形ABJKの面積は、 $\{bx + (bx + b)\} \times a \times \frac{1}{2}$ $= \frac{1}{2} ab(2x + 1) \quad \dots\dots\dots (2)$ (1)、(2)より、四角形AGHCの面積と四角形ABJKの面積は等しい。</p>	<p>○四角形AGHCの面積と四角形ABJKの面積をそれぞれa、b、xを用いた式で適切に表すことにより、四角形AGHCの面積と四角形ABJKの面積が等しくなることについて、推論の過程が的確に示されている。</p>
<p>④ 〔問 2〕 ① 配点 7 点</p>	<p>△BMRと△DQTにおいて、 BM // QDより、平行線の錯角は等しいから、 $\angle MBR = \angle QDT \quad \dots\dots\dots (1)$ 対頂角は等しいから、 $\angle BRM = \angle DRA \quad \dots\dots\dots (2)$ AM // QPより、平行線の同位角は等しいから、 $\angle DRA = \angle DTQ \quad \dots\dots\dots (3)$ (2)、(3)より、 $\angle BRM = \angle DTQ \quad \dots\dots\dots (4)$ (1)、(4)より、2組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle BMR \sim \triangle DQT$</p>	<p>○正しいと認められる事柄について、根拠を明確にして記述し、仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。</p>

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・ 「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「○○と△△が書かれている。(3点)」「○○が書かれている。(2点)」「△△が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。